

2022年度(令和4年度)

福山市 **高校生** 会議



開催報告書





2022 年度（令和 4 年度）福山市高校生会議

- 1 日 時 2022 年（令和 4 年）10 月 30 日（日）
13：30～15：00
- 2 場 所 福山市生涯学習プラザ（まなびの館ローズコム）
大会議室

3 次 第

- （1）開会
- （2）高校生委員自己紹介
- （3）主催者及び来賓紹介
- （4）市長あいさつ（代理：副市長）
- （5）市議会議長あいさつ（代理：総務委員会委員長）
- （6）記念撮影
- （7）会議（パネルディスカッション方式で意見発表と意見交換）

委員会	テーマ
第 1 委員会	商店街に何も無いとは言わせない！
第 2 委員会	福山の貴重な自然を守ろう！
第 3 委員会	空き家を利用した勉強スペースで人の『わ』をつくろう！

- （8）教育長より講評
- （9）記念品贈呈（副市長から高校生委員副代表へ）
- （10）高校生委員代表あいさつ
- （11）閉会

2022 年度（令和 4 年度）高校生会議 日程表

開催日	場所	項目	内容
7月 9日(土) (午後)	まなびの館 0-1階 コム	認定書交付式 第1回委員会活動	認定書交付式 市政の学習とテーマ決め
7月 28日(木) (午後)	まなびの館 0-1階 コム	第2回委員会活動	担当課と学習・意見交換
8月 4日(木) (午後)	まなびの館 0-1階 コム	第3回委員会活動	担当課と学習・意見交換
8月 18日(木) (午前)	まなびの館 0-1階 コム	第4回委員会活動	提案・意見書の作成
9月 17日(土) (午後)	まなびの館 0-1階 コム	特別講座	ゲストをお呼びして 福山のものづくりを学ぶ
10月 30日(日) (午前)	まなびの館 0-1階 コム	リハーサル	リハーサル・準備, 打合せ
10月 30日(日) (午後)	まなびの館 0-1階 コム	高校生会議	意見・提案の発表



●認定書交付式



●福山市政についての学習



●担当課の職員を交えた委員会活動



● 高校生会議



副市長あいさつ



総務委員会委員長あいさつ



記念撮影





テーマ「商店街に何もないとはいわせない！」

私たちは商店街の活性化について話し合いました。私たちがこのテーマにした理由は福山周辺には商店街が集まっており、福山の活性化をめざすために、まず商店街に目を向ける必要があると思ったからです。

ただ、私たちは商店街を日常で利用することは多くはありません。そこで、市の職員の方の話や実際にフィールドワークを行う中で、商店街の魅力を知ることができ、もっと若者や広い世代の方に興味を持ってもらうために、大きく2つの提案を行いたいと思います。

商店街にもっと若者や広い世代の方に興味を持ってもらうために、

- ①年齢により訪れる店は変わってくるので、年代ごとに強調する店を変えたガイドブックを作成し、学校などへ配付することを提案します。
- ②SNSは若者を中心に多くの人々に利用されています。多くの人々の目に留まりやすいSNSを今よりも活用すればその投稿や宣伝を見た人々が商店街に関心を持ってもらえるようになるため、SNSをフル活用することを提案します。
(例：インスタグラムを利用し、お店を1日1店舗紹介する など)

【他の委員会の高校生委員との意見交換】

- ・若者を中心に向けたガイドブックはあまり見たことはないし、さらにそれを学校に配付することにより、SNSをやっていない人も目を通すので、商店街の関心が高まりそうだなと思いました。
- ・公共交通機関を使ってでも行きたくなるような魅力のあるものであるということを発信することで、福山駅から離れたところに住む市民だけでなく、JR沿線近くに住む人達にも広く伝えることに繋がり、商店街が駅に近いという利点があるため、より多くの人がこの駅前商店街に遊びに来てくれるのではないかなと思いました。
- ・私は、福山の商店街をインスタグラムで発信することに惹かれました。私もインスタグラムをよく見るので、インスタグラムで発信することはとてもいいなと思いました。

【経済部長からの意見】

- ・第1委員会の皆さんは実際に商店街を歩いてみてわかったことかと思いますが、商店街にはそれぞれ特徴が違って、お店の種類や利用する人など、様々な状況が違ってきます。商店街によっては、お店がグルメとかファッション、食べる、飲む、買う、泊まるといったカテゴリーに分けてホームページで紹介する取組をしています。

ただ、今回、第1委員会の皆さんから提案があった年代別にターゲットを絞って情報

を発信していくことも効果的なアイデアになると感じたので、この商店街と連携する事業の中で、各年代の方に向けて効果的な情報発信といったものを検討していきたいと思っています。

・商店街の方々も SNS を活用した情報発信は大切だというふうに考えていて、何かイベントがあったときの当日の様子、それを発信するなどの様々な取組をされています。

そこに今回の SNS を日常的に使い分けて、活用している若者のアイデアが加わることでより効果的な情報発信に繋がるのではないかと感じました。

商店街の方々にも今回いただいた提案のアイデアをお伝えして、商店街の魅力がより伝わるように検討していきたいと思っています。

また、商店街などが実施するイベント等について、今回、高校生会議に参加されている皆さんの目線で、色々な SNS を活用した情報発信をしてもらい、商店街や福山市の取組にぜひ協力してください。よろしくお願いいたします。

商店街に何も無いとは言わせない！


～第1委員会～
橋本優菜・石川心音・卜部帆香・鎌田遙菜
中元亜美・小野清音・清代菜穂・山本高誠

なぜこのテーマにしたのか

- ▶ 本当はたくさんの魅力がある福山の商店街 → **知られていない！**
- ▶ 福山活性化のために → **駅前周辺だと商店街が一番目立つ**
- ▶ 私たちの持っている商店街のイメージの払拭


私たちのイメージ

- ▶ 駅周辺の店は酒場のような大人向けの店が多く、若者や子供が楽しめるお店が少ない。
- ▶ 駅から離れた商店街は**殺風景**でシャッターが多く、人が少ない。
- ▶ 暗くてこわい
- ▶ 商店街には何も無い



職員から聞いたこと

- ▶ 商店街は**大型ショッピングセンター**にはない魅力がある → 情報発信へのアプローチが重要
- ▶ 市が力を入れていること → **「歩いて楽しめるまちづくり」**
- ▶ 福山駅周辺には商店街が**全部で14**存在する
- ▶ 商店街では全体で何かするのではなく、個々の店でどうにかすることのほうが傾向として多いということ



実際に商店街を歩いてみて...



実際の商店街

- ▶ シャッターは悪いの**ほかに少ない**
- ▶ それぞれの商店街には**それぞれの魅力があった** (例) 古い店を再利用している
- ▶ 居酒屋など大人が行く店だけでなく、広い世代をターゲットにしている店もあった
- ▶ **予想よりも活気に満ちていた**


実際の商店街

- ▶ 商店街全体のイベントをやっているところもある
- ▶ **緑を取り入れた商店街もある**
- ▶ どの商店街も飲食店なら居酒屋、雑貨屋ならジュエリーショップなど、**対象年齢が比較的高い店が多い印象**



今の課題

- ▶ イベントや商店街などの情報が広い世代に届いていない
- ▶ 商店街の良いイメージの生成と発信
- ▶ たくさんある福山の魅力の伝達
- ▶ 魅力やイベント情報を多くの方に届け、**まずは知ってもらうこと！**



提案

- ▶ 年代別の商店街のガイドブック、パンフレットを作成する → 福山市内の学校に配布する、施設に置く
- ▶ SNSのフル活用

SNSのフル活用に対する具体例

例えば、

- ・インスタで一日一つ福山のお店を紹介していく
- ・ツイッターやインスタなどで4コマ形式にして福山のお店を紹介していく
- ・テイクアウトなどでローラちゃんを始めたキャラクターの挑戦動画を上げる
- ・魅力を伝えるためにローラちゃんなどを使って、福山の情報発信をする。

これらの施策をとりいれると...

- ▶ 商店街の秘められた魅力を全世代に認知して貰い、**「商店街に何も無いとは言わせない！あふれる魅力とともに歩むまちづくり」** ~福山市がより活気に溢れ、歩いて楽しい街になることを願って~

ご清聴ありがとうございました



テーマ「福山の貴重な自然を守ろう！」

日本各地に古くから固有の動植物が生息しています。しかし、開発や外来種の増加により、その数は減っていき、中には絶滅の危機に瀕しているものもあります。

ここ福山市でも数多くの動物や植物の保護活動が行われておりますが、今回、スイゲンゼニタナゴとエヒメアヤメを例に挙げ、もっと知名度を向上させ、保護活動がされている動植物の現状を知ってもらい、保護意識を高めてもらうことを目的に4つの提案を行いました。

保護活動を行っている動植物の知名度を向上させるために、

- ①スイゲンゼニタナゴの飼育の様子や特徴的なアピールポイント、エヒメアヤメの「映える」画像などをユーチューブのショート動画やInstagramなどのSNSを活用した宣伝を提案します。
- ②すでに製作されているスイゲンゼニタナゴの缶バッジの他に、様々な種類のキーホルダーなどのかわいいオリジナルグッズの制作を提案します。
- ③より多くの注目を集めるため、さかなクンなどの生き物や植物に詳しい有名人を招いて、スイゲンゼニタナゴやエヒメアヤメなどの講演会を開くことを提案します。
- ④さらなる情報発信のため、スイゲンゼニタナゴを入れた水槽を市役所や商業施設などの人が集まりやすい場所に設置することを提案します。

⇒ 以上の提案を行うことで、保護意識を持ってもらい、人の目が増えることによる密猟の防止、新たな援助、保護場所の獲得に繋がると考えています。

また、このような在来種を守ることは、福山の古くから残る風景や土着の文化などの「福山らしさ」を守ることにもつながっていくと考えています。

【他の委員会の高校生委員との意見交換】

- ・宣伝方法も多種多用で、この方法なら色々な人に伝わると思います。この多種多用な宣伝方法を大いに活用して、福山市の生物だけでなく、福山ならではの食べ物などを発信できればいいなと思いました。
- ・課題に対しての解決策が複数挙げられているので、解決できる可能性が高くなり、良いと思いました。
- ・具体的な提案を出すことで、よりテーマに向けて解決策を見つけていたことが良いと思いました。また私の意見では、一つ目の提案を利用して、それぞれの植物の成長日記を行うことで他の人の興味を引き、知名度をもっと上げることができると思いました。

【環境部長からの意見】

- SNSを活用した宣伝については、生き物の姿を動画などで発信し、本物の絶滅危惧種を見たことがない方でも特徴、そして魅力を知ってもらえるというまさに若い方ならではの柔軟な発想であると思っています。提案があった様々な媒体を活用して、効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えており、また、他の委員会の方から提案があった成長日記についても取り入れるよう検討していきたいと思っています。
- 新たなオリジナルグッズの製作については、日常生活の中で親しみやすいように、今後関係団体などの中でしっかり議論して実現に向けていきたいと思っています。
- 有名人を招いての宣伝については、影響力をもった有名人の宣伝は多くの人に希少な生き物を知ってもらう貴重な機会になると考えており、本市では毎年度様々な著名人や有名人を招き、環境保全に関する講演会を行っております。今後も情報発信をするターゲットに応じて、講演者の選定をしていきたいと考えています。
- 水槽の展示については、保護活動を理解していただくためには、生態を直接みていただくことが一番であると考えています。毎年、スイゲンゼニタナゴの生態などのパネル展示などを行っており、引き続き取り組んでいきます。

<h3>福山の貴重な自然を守ろう！</h3> <p>第2委員会 / 松本拓貴 森下勇典 新田颯 藤田悠花 小林咲花 下間颯里 新次悠月 小林愛実</p>	<h3>理由</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ 1つの在来種の絶滅により、同じ生態系に住む生き物や植物に大きな影響がでる▶ 在来種の減少・絶滅⇒郷土の文化や風景が変わってしまう ⇒ 「地域らしさの損失」	<p>この生き物を知っていますか???</p> 
<h3>スイゲンゼニタナゴの現状</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ スイゲンゼニタナゴは福山市と岡山県の一部地域に生息していたが、生息環境の変化や減少、水質の悪化などにより生息数が大きく減少した。▶ 絶滅危惧種ⅠA類や種の保存法の「国内希少生動物種」などに指定され、絶滅の危険性が極めて高いとされている。	<h3>エヒメアヤマの現状</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ エヒメアヤマは瀬戸内沿岸や九州の山地、草原や中国・朝鮮など広く分布している。江戸時代の福山の郷土史記に「誰故草」として取り上げられているなど古くから知られている植物。▶ 生息環境の変化や現象により絶滅の危機にあり、自生地が市の天然記念物に指定されている。	<h3>取り組み</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ スイゲンゼニタナゴは生息環境の整備、保護増殖機関による飼育繁殖。▶ エヒメアヤマは春日町宇山地区を中心に自生地の管理、鑑賞の手引書の公開などの普及活動が行われている。
<h3>提案① SNSを活用した宣伝</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ スイゲンゼニタナゴの飼育様子や、特徴的なアピールポイント、エヒメアヤマの「映える」画像などをYouTubeのショート動画やTikTok、Instagramなどを活用して発信する。	<h3>提案② 新たなオリジナルグッズの制作</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ 既存のバッジのほかに、様々な種類のキーホルダーなどのかわいいオリジナルグッズを制作する。 	<h3>提案③ 有名人を招いて宣伝</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ さかなくんなどの、生き物や植物に詳しい有名人を招いてスイゲンゼニタナゴやエヒメアヤマなどのお話をさせていただくことで、より多くの注目を集める事ができると考えた。
<h3>提案④ 水槽の展示</h3> <ul style="list-style-type: none">▶ スイゲンゼニタナゴを入れた水槽を市役所や商業施設などの人が集まりやすい場所に置くことで更なる発信につながると考えた。	<h3>まとめ</h3> <p>知名度が向上する ⇒人々に絶滅危惧種の厳しい現状を知ってもらう ⇒興味、保護意識を持ってもらい、新たな援助、保護場所の獲得につながる 人の目が増えることによる密猟の防止</p>	<ul style="list-style-type: none">▶ 在来種を守るということは福山の古くから残る風景や土着の文化などの「福山らしさ」を守ることにもつながるのではないのでしょうか。



テーマ「空き家を利用した勉強スペースで人のわを作ろう！」

私たちが住む福山市では、多くの空き家が存在し、空き家率も上昇傾向にあります。

また、私たちは福山市に勉強スペースが少ないように感じており、図書館やカフェはありますが、それらは人が多く使えない場合があります。また、カフェに関してはお金がかかってしまい、長時間の滞在は控えてほしいといった貼紙をみかけることがあります。

そこで、私たちはこれらの状況を改善するために空き家を活用した勉強や仕事ができるスペースを作りたいと考えています。実際、空き家を利用することで、誰もが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行するというSDGsの11番「住み続けられるまちづくり」を達成できます。

しかし、運営するにあたり、電気代や机などのコスト面が問題となってきます。

そこで、その問題を解決するために2つの提案を行いたいと思っています。

コスト面の問題を解決するために、

- ①インターネットを介して、不特定多数の人々から少量ずつ資金を調達するクラウドファンディングを利用することを提案します。
- ②新たに福山市が空き家を活用してできるお店や学習スペースなどを作るときに必要な金額の一部を負担する補助制度を作ることを提案します。

【他の高校生委員との意見交換】

・SDGsを意見案に取り込んでいたこと、勉強スペースの中にマカロンやクッキーを販売する案など、対象を若者に設定している案もいいなと思いました。

補助金の制度を作るという提案はなかなか難しいと思いますが、ぜひとも実現して、第3委員会のテーマである人のわを作ってほしいと思います。

・勉強スペースを確保するには、問題点をクラウドファンディングや補助金制度でまかなうのはとても良いアイデアだと思います。私たちでもできる宣伝方法のところは、今若者たちはSNSをよく使っているので、ツイッターやインスタグラムなどを活用していったらいいと思います。

・空き家対策において、今までにない使い方に着目し、新しい視点で考えていることは、画期的でいいなと思いました。そこで私が一つ思ったのが、範囲が限定されるのではないかということです。その地域ごとでニーズが違うので、環境や空き家が違うそれぞれに適用するため、幅広く柔軟に活用できるようにして、制度を工夫してみてもどうでしょうか。また、空き家を運営する人をどうやって集めるのかを考えていくと、もっと実現に近づくのではないかと思います。

【建築部長からの意見】

- ・昨今、新しい働き方としてテレワークなどが注目されていますが、提案があったものについては、まさにこういった新しい働き方に対応することができることで、勉強スペースについても学生の皆さんが日常で率直に感じられる意見が反映されたもので、有用性が高い提案だなと感じています。
- ・問題となる運営コスト、事業を継続していくための経費をどうやって生み出すかについて、自動販売機の設置や軽食の販売の売上げのほか、自らクラウドファンディングを立ち上げ、資金を調達していくという事業化に向けた具体的な提案がされています。クラウドファンディングを行う中で事業の趣旨の説明を行い、賛同を得ながら進めていく取組は、人のわを作り広げていくという皆さんのテーマにマッチした有効な手法ではないかと感じています。
- ・新たな補助制度を作ることにについて、空き家所有者と事業者が良きパートナーとして、事業化を図る中で、その一部に市が支援を行うことはまちづくりや産業振興そして教育支援といったものにもつながっていくと考えています。今回提案をいただいたような空き家を新たな活用につなげる支援策を今後、関係部署とも連携をしながら、構築できるよう検討していきたいと思っています。

空き家を利用した勉強スペースで人の【わ】を作ろう！



第3委員会
原田一加 山崎真実 向川志歩
足立美咲 高橋明里 桑木吉奈

福山市の空き家の状況

■表1 空き家数及び空室率率(全国・広島県・福山市)

	住宅数(A) (戸)	空き軒数(B) (戸)	空室率率 (C/A)(%)	その他の住宅 数(千戸) (千戸)	その他の住宅 空室率率 (D/E)(%)
全国	40,624,000	8,375,000	20.6	3,338,000	5.8
広島県	62,487,000	8,486,000	13.6	5,487,200	5.6
広島市	3,392,500	223,000	6.6	305,400	7.8
福山市	2,436,700	215,000	8.8	114,200	6.0
	202,300	28,000	13.8	15,000	5.8
	217,000	30,110	13.9	15,470	6.2

このまま空き家が増加すると...
街の景観の悪化や治安の悪化につながる
⇒福山市の活性化が推進するどころか悪化してしまう可能性がある！

この状況を改善するために...

福山市をより活性化させるために空き家を活用した勉強や仕事ができるスペースを作る！

勉強スペースとは...

- ・学生が勉強したり大人がデスクワークしたりできるスペースが確保されており、**無料**で利用することができる。
- ・設置してある自動販売機などで飲み物や軽食を買い、そこで飲食することも可能！

そこででてくる問題.....コスト面

電気代や机や自動販売機などを購入するにあたっての経費などが必要になってくる。

軽食や飲料を売った利益でまかなう

↓
クラウドファンディングをおこなう

クラウドファンディングとは...

インターネットを介して不特定多数の人々から少量ずつ資金を調達すること。

【投稿例】 空き家を利用した勉強スペースで人の【わ】をつくらう！

「はじめまして！」
はじめまして、「福山市環境生活会議」に参加しました。「福山市環境生活会議」とは、福山市をよりよい街にするために集まった組織です。
福山市をよりよい街にするために集まった組織です。
その結果、空き家に活用したいという人が増え、空き家があることを知り、なにかに活用していただく方が増え、みんなが笑顔になれる福山市を目指しています。
【お聞き下さいは、3年間で（以上）継続された事です。】
空き家を有効に活用していただくには、空き家があることで地域の活性化につながるという意識が重要だと考えました。福山市には、空き家が3018戸（平成30年）の時点で既に10戸あり、空き家が13戸あることがわかりました。この現状を踏まえ、空き家を有効に活用したいという人が増え、空き家があることを知り、なにかに活用していただく方が増え、みんなが笑顔になれる福山市を目指しています。
空き家を有効に活用していただくには、空き家があることで地域の活性化につながるという意識が重要だと考えました。福山市には、空き家が3018戸（平成30年）の時点で既に10戸あり、空き家が13戸あることがわかりました。この現状を踏まえ、空き家を有効に活用したいという人が増え、空き家があることを知り、なにかに活用していただく方が増え、みんなが笑顔になれる福山市を目指しています。

クラウドファンディングのメリット・デメリット

- メリット**
- ・地域の現状を把握できること
 - ・地元企業や団体との信頼関係や絆が深まること
 - ・特産品や工芸品、観光地をアピールすることができること
- デメリット**
- ・手数料がかかってしまうこと
 - ・寄付金が必要な金額が集まらない可能性があること

提案

クラウドファンディングのリスクあり
↓
福山市には使える制度がなく、カフェなどの勉強スペースが作られたケースが少ない
↓
福山市で空き家を活用したスペースを作る人々を支援する制度を作りたいと考えています！

成功例

空き家を活用した勉強スペースやお店が増える
↓
これらの施設を利用する人が増える
↓
利用した人が和やかな輪を作る

ご協力お願いいたします！！

●教育長講評



●記念品贈呈



●高校生委員代表あいさつ



福山市高校生会議2022 第1回レポート

福山市 **高校生** 会議

2022

(7月9日号)

☆認定書交付式と第1回委員会活動

7月9日(土)に、福山市子ども議員と合同で認定書交付式を行いました。子ども議員、高校生委員それぞれの代表が、枝広市長から認定書を受け取り、市長や教育長等から激励を受けました。

その後、市企画政策課の職員から、福山市の市政について学習し、委員会に分かれて、今回取り上げたいテーマやテーマに沿って担当課の職員に聞いてみたいことなどを話し合いました。



☆福山市高校生会議って？

地域や社会に関心を深め、福山への愛着と誇りを持ってまちづくりに参画する若者を育成することを目的に、2016年度(平成28年度)から福山市高校生議会として始まりました。今年で7回目。2020年度(令和2年度)から形式を「議会」から「会議」に変更し、より自由な意見交換の場にリニューアルしました。

今年度は公募の高校生26名が3つの委員会に分かれ、市政の現状からテーマを選び、疑問に思ふこと、課題とすることを調べ、議論を重ね、独自の発想、アイデアによる新たな施策への意見・提案を発表します。

2022年度(令和4年度)福山市高校生会議の日程

認定書交付式	認定書の交付
第1回委員会活動	市政の学習とテーマ決め
第2回委員会活動	市担当課から学習
第3回委員会活動	テーマについて議論を深める
第4回委員会活動	意見・提案書の作成
特別講座	地元企業から学習
高校生会議	意見・提案の発表と意見交換

広報委員からの感想・意気込み

今日は高校生会議記念すべき1回目でした。年齢・学校・価値感がまったく違う人達と協力して目標を設定するのはとても難しく大変でした。みんな初めは緊張していて挙手・発言も遠慮しがちだったのですが、代表がしっかりみんなを引っ張ってくれてとても頼もしかったです。

次回は担当課の職員の方と交えての学習会なので、そこで自分の意見・疑問を発信しつつ、みんなが意見を出せる環境も作ってあげたいです。(橋本)



第1回委員会活動では、認定書交付式と各グループでのテーマ決めや市政の学習が行われました。市政の学習では、普段の生活の中ではなかなか気づくことができていなかった福山市の取組や新5つの挑戦など、福山市がめざしている姿に実現できるよう、様々な取組が行われていることを知りました。グループでのテーマ決めでは、初めて高校生会議に参加した人や何度か参加した人もおり、初めての話し合いでなかなか話がうまくまとまらないところもあったけど、終了時間が近づくにつれ、笑顔も少しずつ増えていたように感じました。

2回目は7月28日(木)に行われます。今よりももっと話し合いの内容を深くまで話し合えたらいいなと思いました。(向川)

7月9日に第1回高校生会議が行われました。私は今回初めて参加したので、認定書交付式のあまりにも厳かな空気に圧倒されました。しかし、班活動に移ってテーマを決める際、初対面同士であるはずなのに、気さくに話しかけてくれたり、高校生とは思えないコミュニケーション能力で意見を出したり、話をまとめたりしてくれたメンバーに感動して、緊張なんて忘れていたと思います。むしろ、笑顔が多く、リラックスした雰囲気でした。次の議会でさらに仲を深めたいです。

また、福山市のまちづくりについてのお話も興味深かったです。知らなかったオンリーワン、ナンバーワンを見つけたり、今の課題や課題解決に向けた挑戦も具体的に聞くことができました。福山市はとても素敵な市です。ですが、まだまだ素敵な市になれます。住みよいまちづくりをめざして、これから頑張っていきたいです、次回が待ち遠しいです。(小野)

今日から待ちにまった高校生会議がスタートしました！認定書交付式、代表決めの選挙、グループに分かれて意見交換したりテーマ決めをしたりしました。代表決めの選挙の演説では、同じ高校生がこんなにはっきり堂々と意見を言う姿に驚きました。

グループに分かれてからは緊張で固まったりしたけれど、みんなの明るくて優しい雰囲気の中になると、いつのまにか、話し合いに没頭していました。緊張と不安で始まりましたが、終わりには「早く次の活動がしたい！」という思いでいっぱいでした。次回からは自分達で決めたテーマについて積極性をもって、話し合いに参加していきたいです。

(小林(愛))



第1回目の高校生会議がありました。初回では認定書交付式とテーマ決めを行いました。

私は初めての高校生会議ですごく緊張していたけれど、班の人と交流をするうちに話し合いの楽しさや自分1人では考えられないようなアイデアが出たりとびっくりすることもたくさんあって、次回の高校生会議が待ち遠しいなと思いました。これから3~4ヶ月間頑張ろうと思います。(小林(咲))



今回は交付式がありました。交付式では、市長や教育長などが来てくださり、とても緊張しましたが、無事終わることができて良かったです。

自分は高校生会議は初めての参加で少し緊張していますが、これから頑張っていきたいです。初めてで何にもわからないけど、わからないなりに頑張っていきたいです。委員会の中で積極的に発言できるように頑張ります。(原田)



☆今年度の高校生会議は、次の3つのテーマについて議論していきます。

- 第1委員会 商店街の活性化について
- 第2委員会 福山の貴重な自然について
- 第3委員会 空き家を利用して人の『わ』を作る

福山のことを調べ、学び、高校生の目線でもっと素敵なまちになるよう考えていきます。



福山市高校生会議2022 第2回レポート

福山市 **高校生** 会議

2022

(7月28日号)

○高校生会議の広報委員が、第2回委員会活動の感想や次回の活動についての意気込みを寄せてくれました。

第1委員会 商店街の活性化について



7月28日に、第2回高校生会議がありました！専門家の話が聞けることを楽しみにしていたのですが、想像以上に会議は楽しく、時間はあっという間に過ぎていきました。『商店街に「何もないとは言わせない』』ということで、産業振興課の方に来ていただき、商店街の地図や、福山のイベントについてなどの資料をもらって、深いところまで教えてくださいました。そして、福山の商店街の問題について、みんなで付箋にたくさん書いて貼り付け、それぞれの意見を交流しました。次回はその意見から、具体的な改善策を出していきます。また集まって、みんなで話し合うのが楽しみです！（小野）



第2委員会 福山の貴重な自然を守ろう

第2回の高校生会議がありました！

前回決めたテーマについて課題や現状など、今後のことについて詳しく話し合いました。今回は環境保全課の方にお越しいただいて、たくさんのお話を聞かせてもらって、少し難しい内容だったけど、意見交流するのは楽しかったです。話し合いを進める中で、みんなで話題を出したり、難しい意見をたくさん言っていて、「すごいなあ、私も頑張ろう」という気持ちになりました。第1回目の高校生会議はみんなはじめましての状態緊張していたけれど、2回目では、少しほぐれて、意見を言いやすい雰囲気だったので良かったです。次回も頑張ります！！（小林（咲））



第3委員会 空き家を利用して人の『わ』を作る



2回目の高校生会議が行われました。1回目の委員会活動に比べ、意見交流がたくさん出来ていたように感じました。話の内容も具体的に考えるようになり、テーマの変更やどの世代をターゲットにして行っていくかなど深くまで話し合ったり考えたりすることができました。また、各班で担当課の方からテーマに沿った内容のお話も聞くことができました。今まで私たちが知らなかったことや調べきれいいなかったことも知ることができ、勉強になりました。

次回は担当課の方から教えてもらったことを活用したり、班ごとで決めたテーマを今よりも深く教えたりすることができればいいなと思いました。（向川）

福山市高校生会議2022 第3回レポート

福山市 **高校生** 会議

2022

(8月4日号)

○今回の活動では、引き続き市の担当課職員から現状や課題について勉強し、解決策やアイデアを話し合うとともに、意見・提案をどのように発表するかの骨組みを決め、意見提案書の作成に取りかかりました。



第1委員会 商店街に何も無いとは言わせない!



3回目の委員会活動では、福山の商店街の理解をもっと深めるために歩きました。今までは自分が見たもの、聞いたものだけで意見を述べてきましたが、実際、普段歩くことがないような所まで歩いてみたことで、知らなかったことや新しい発見もたくさんありました。福山の色々な所をしっかりと知った上で、意見が変わったり、まったく新しい案が出てきたりでとても楽しかったです。

高校生会議の準備もいよいよ終わりに近づいているので、引き続き気を引き締めて頑張ります。(橋本)

第2委員会 福山の貴重な自然を守ろう!



今日は3回目の委員会活動でした。意見提案書を書くための大きな概要を話し合いました。それぞれ調べてきたことを交換したり、提案を付箋に書いたりして意見をまとめていきました。3回目となると、みんなとも打ち解けてきて、自分から意見を言うこともできました。また、発表のための文章やスライド作成にもとりかかりました。みんなと作ると、色々なアイデアが飛び交って、どんどん考えが広がっていきます。これから課題解決できるような良い意見提案書を作れるよう頑張りたいです。(小林(愛))

第3委員会 空き家を利用した勉強スペース人の『わ』を作ろう!



今回やってみて自分達は、空き家の活用の仕方について学びました。空き家にも色々な種類があって、どのように活用すればよいのかすごく悩みましたが、楽しく考えることができました。

そして意見提案書の原稿を作成するのが意外と難しく、特に言葉の表現について悩みました。引き続き良い意見提案書ができるように頑張りたいと思います。(原田)



福山市高校生会議2022 第4回レポート

福山市 **高校生** 会議

2022

(8月18日号)

○7月から話し合ってきたテーマについて、意見・提案を発表するための原稿作成と、パワーポイントでのスライド作成に取り組みました。また、当日の発表者やスライド担当など、当日の役割分担も決めました。

残すは9月の特別講座と10月の会議本番のみです。どの委員会も本番に向けてラストスパートの気持ちで頑張っています。

第1委員会 商店街に何も無いとは言わせない！



今回の活動では意見提案書等の作成を行いました。第1回の緊張しながら自己紹介し合っていた頃と比べて、みんなが交流を深めていて楽しそうに会話していたり、笑い声が起こったりして、雰囲気が柔らかく明るくなっていました。私たちの委員会も提案書の作成の際、役割分担をしながら意見をまとめ、文章を作成していきました。楽しくてあっという間だったと感じています。

次回の活動では、特別講座ということで、日東製網株式会社さんからものづくりについて学ぶそうです。企業の方の話を聞けるというのは貴重な体験なので、たくさん学んでいきたいです。(小野)



第2委員会 福山の貴重な自然を守ろう！

今回は、意見や提案を発表するために、パワーポイントを利用したスライド作成を中心に活動しました。

私たちの委員会では、文章作成チームとスライド作成チームに分かれてお互いに相談し合いながら効率よく作成することができました。

写真やスライドのデザインとかもこれから工夫してもっと良いものを作成したいと思いました。今後の活動もみんなと協力して頑張りたいです。(小林(咲))



第3委員会 空き家を利用した勉強スペース人の『わ』を作ろう！



第4回の委員会活動では、高校生会議当日に向けてのスライドを作成したり意見提案書を完成させたりしました。今までの委員会活動に比べて、意見交換がたくさん出来たように感じました。またグループの中も深まり、笑顔でいられる時間も増えて楽しい時間を過ごすことができました。

次回は、子ども議員との合同での特別講座です。長時間の講座なので集中して頑張りたいと思います。(向川)

福山市高校生会議2022 特別講座レポート

福山市 **高校生** 会議

2022

(9月17日号)

○今回は子ども議会と合同で特別講座として、「オンリーワン・ナンバーワン企業」から日東製網株式会社の方にお越しいただき、会社の事業内容からものづくりの素晴らしさなどについて学びました。その後は高校生会議本番に向けた最後の準備を行いました。

今回のレポートでは、特別講座の感想や次回の会議本番に向けての意気込みを寄せてくれました。

今回の特別講座では日東製網株式会社の方からものづくりを学ぶ講座でした。

日東製網株式会社は漁業の網を作っている会社です。一見私たちには関わりがないように感じますが、裏で私たちの生活を支えているものだと知り、とても身近に感じました。

また、後半では、高校生会議本番に向けた最後のスライド作成を行いました。委員長を中心に積極的に引っ張ってくれて心強かったです。また、第1回と比べてみんなしっかり意見を言えていて、団結力を深めることができました。

最後まで悔いのないよう全力で頑張ります。(橋本)



9月17日、子ども議会との合同で日東製網株式会社の方からお話を聞きました。網の中にも定置網、養殖網などの漁業関係のものだけでなく、ゴルフ場や野球場、学校などで使われる防球ネット用の網など様々な用途があることを知り、とても驚きました。今後も福山の誇るものづくり企業について理解を深めていきたいと思っています。

そして、次にみんなで集まるのはあと1日、高校生会議本番のみとなりました。今までに担当課の方やメンバーから学んだことを最大限生かして本番頑張りたいです。(松本)



子ども議会と合同で特別講座が行われました。日東製網株式会社の方からものづくりについて学びました。

日東製網さんは無結節網を世界で初めて製造したことを知り、印象に残りました。

漁師さんが魚をとる網や野球場・ゴルフ場で使うような大きな網を作っていることを知り、とても良い勉強になりました。

いよいよ高校生会議本番！委員会のみならず今まで頑張ってきたものを全力で出し切って意見・提案をしっかりと伝えられたらいいなと思いました。

笑顔を忘れずに頑張ります！（向川）



福山市高校生会議2022 会議当日レポート

福山市 **高校生** 会議

2022

(10月30日号)

○それぞれの委員会で話し合ってきたテーマについて、意見・提案を発表しました。

また、発表した委員会以外の高校生委員とも意見交換し、市の担当者からも意見をいただきました。

今回の会議を通して、広報委員から今まで活動してきたことに対する思いや会議本番を終えた感想を紹介し
ます。

第1委員会 商店街に何もないとはいわせない！



○第1委員会では、商店街をより活性化することを目的に、商店街をより若者や広い世代に興味をもってもらうための①年代別のガイドブックの作成、②ツイッターやインスタグラムなどのSNSの活用について、提案を行いました。

ついに最後の高校生会議が終わってしまいました。長かったようで、いざ終わってみるととても早く感じています。最後の高校生会議ではそれぞれのグループがたくさん話し合い、考えてきた意見を、専門家の人を呼んで発表しました。マイクを持って喋ることに慣れておらず、それ以前に私が思っていた以上にたくさんの方が来ていて、すごく緊張しましたが、皆さんが同じ高校生とは思えないくらいハキハキと意見を述べていたので、自分も負けてはいられないと思い、頑張りました。

とても良い会議だったと思います。また、高校生会議を通してできた友達もいるし、新しい発見や問題点などを共有し合う大切さも知れて、本当に良い経験になりました。

市役所の方々、協力してくださりありがとうございました。そして高校生委員の皆さん、素敵な思い出を作ってくださいありがとうございました。(小野)



第2委員会 福山の貴重な自然を守ろう！

○第2委員会では、「福山の貴重な自然を守る」をテーマに、市で特に保護に力を入れているスイゲンゼニタナゴやエヒメアヤメを例に挙げ、市民の方に保護活動が必要な動植物の厳しい現状を知ってもらい、保護意識を高めてもらうことを目的に、SNSを活用した宣伝や新たなオリジナルグッズの製作などの提案を行いました。

10月30日は高校生会議の最終日でした。緊張と共に興奮がおとずれました。私は第3委員会のパネラーとして発表しました。大勢の人々の前で意見を言うのには緊張しましたが、うまく行って良かったです。また、夏から一緒に取り組んできたテーマについても結果的にたくさんの案がでて、発表もうまくいきました。高校生会議を通して、少しでも福山市と関わったり、考えたりすることができて、やっぱり自分たちの市について考えるのは大事なんだなと思いました。

市役所の皆さん、高校生委員の皆さん、あっという間でしたが、貴重な経験をさせてくれて、ありがとうございました。(小林(愛))



第3委員会 空き家を利用した勉強スペースで人の『わ』を作ろう！



○第3委員会では、福山市でも多くの空き家が存在する中で、学生にとっては勉強スペースが少ないことを常日頃感じていることから、空き家を活用した勉強スペースや仕事ができるスペースを作ることを提案しました。

また、勉強や仕事ができるスペースを作ることに伴い、運営資金の確保を行うため、クラウドファンディングや新たな補助金制度を作ることも提案しました。

仲間と一緒に活動をしてきて、自分たちが住んでいる市がもっと良くなるようにと提案を考え、発表ができて良かったです。

活動をする中で、全部がうまく進まず悩んだりしたこともありましたが、それでもとても楽しい活動ができて嬉しかったこと、そして次の機会があった際には、もっと仲間としっかり話し合っ、よりよい提案ができるように頑張っていきたいと思いました。(原田)



(その他の高校生委員からの感想)

- ・普段は他校の生徒の人との交流がありませんが、初めてこの会議に参加して、交流を深めることができました。また、相手の意見を聞くことで自分が思っていない考えも見つけることができ、参加して良かったです。
- ・自分の意見と人の意見を取り入れて1つのものを作ることの難しさ、楽しさなどを知ることができました。また、初めて会う人と話すことも少しできるようになったと思いました。
- ・市の担当者の方の話を聞きながら、実際に商店街を見て回るのは楽しく、また今回初めて知ることができたことも多かったので良かったです。
- ・自分の意見を広げつつ、他の人の意見も交えながら1つの意見をまとめ、プレゼンテーションができたので良かったです。

など



7月から10月までの長期間にわたり、仲間とともに活動を頑張り、素敵な高校生会議を開催することができました。今回の経験を糧に、地域や社会に関心を深め、引き続き本市のまちづくりに積極的に関わってほしいと思います。

最後に、今回の高校生会議に関わってくださった皆様ありがとうございました。そして、高校生委員の皆さんのこれからの活躍を応援しています。(高橋)

○高校生会議 高校生委員代表あいさつ

2022年度福山市高校生会議代表の、福山誠之館高等学校2年 新田 晟 です。

私は、子ども議会と高校生会議に合わせて6年間参加し、昨年に引き続き今年度も高校生会議の代表を務めさせていただきました。毎年、この取組に参加することで、私は多くの仲間と出会い、楽しくて有意義な時間を共に過ごすことができました。コロナ禍の中、このような機会を与えてくださり、市長様、教育長様、市の職員の皆様に感謝致します。ありがとうございます。

さて、今年は福山市のシンボルである福山城は築城400年という節目の年であり、新しく生まれ変わりました。天守閣の南側は白く輝き、優雅さを取り戻しました。そして、対照的に北側は黒い鉄板で覆われ、今までにはなかった力強さが加わり、以前よりもその存在感が増したように思います。

私たちの活動は、この新しく生まれ変わった福山城のように、ふるさとである福山市をより良い街へと進化し続けさせるためにあると思っています。私たちは、福山市の事について勉強し、「何が問題なのか。」「どのようにしたら改善できるのか。」を深く考えました。そして、知恵を出し合い、とことん話し合いました。その結果、私たちが望む福山市を実現するための提案をまとめ上げることができました。この提案によって、これからの福山市が今までよりもっと輝き、力強い街へと発展していくものと信じています。

高校生会議での活動は、私たちにかげがえのない宝物を与えてくれました。

それは、「たくさんの仲間」と「大きな自信」です。この活動に参加していなければきっと出会わなかった学校の枠を超えた仲間ができました。そして、その仲間と共に大きな夢を実現させるために力を合わせ、福山市の未来づくりに参加できたことは大きな自信となりました。この宝物は私たちの歩みに大いに役立つと思います。私は、高校生会議での経験を活かし、これからもあらゆることに挑戦していきたいと思います。そして、世界のどこよりも元気で笑顔に満ちた明るくて平和な街に発展し続けることへ貢献していきたいと思います。

「高校生会議」の運営にあたり、次の皆様に多大な御理解、御協力をいただきました。御協力をいただいた関係者の皆様の全てに感謝申し上げます。ありがとうございました。

- 特別講座講師 日東製網株式会社 人事総務部人事課 課長 金濱 弘一郎 様
- 事前学習会講師 企画財政局企画政策部企画政策課
- 担当課 経済環境局経済部産業振興課、経済環境局環境部環境保全課、建設局建築部住宅課





「2022年度（令和4年度）福山市高校生会議報告書」

2023年（令和5年）3月

編集・発行 福山市 市民局 まちづくり推進部

青少年・女性活躍推進課

〒720-0831

広島県 福山市 草戸町 五丁目 12番3号

(084) 928-1046

